

東海特別支援教育カンファレンス

東海特別支援教育カンファレンス実行委員会

〒496-0922 愛知県愛西市大野町茶木 296-8

助成事業の概要

この会は、特別支援教育において障害のある児童生徒の生活の質の向上を目指して、具体的な支援・指導の方法を検討し、実践をひろげることを目的とし、当事者と家族、医療、福祉、教育など特別支援教育に関係する方々や団体との情報交換・協力体制などのつながりを構築することに努めてきました。

今年は感染症拡大防止の観点から、例年行っている会場集合型のセミナーを中止し、オンラインで開催。開催期日は ZOOM を用いた研修を 8 月 2 日、8 月 7 日、8 月 16 日、8 月 17 日、8 月 22 日、8 月 30 日、9 月 5 日、9 月 12 日、9 月 19 日、2 月 26 日、3 月 12 日に行いました。また、オンデマンド研修として YouTube と当会のホームページ上にて多くの方が学べるように公開しました。各研修の内容は、ワークショップとして視線入力教材作り、プログラミング体験、タブレット活用、防災教育、臨床美術等、多彩な内容となりました。また、講義形式の研修として ICT 活用、自閉症支援、視線入力機器活用、コミュニケーション支援研修等を開催しました。

事業の成果

感染症拡大防止の観点から、これまでの集合型研修からオンライン研修を中心に行いました。参加者からは、インターネットによる参加申込や Zoom の接続設定等に不安があったようですが、各研修事に接続担当を設けたことで、参加者が安

心して参加するサポートを行うことができました。また、オンライン開催としたことで、参加者が会場までの移動や、多くの人が集まる場所に行くことなく研修を受けることができたことに安心感を持つことができたようです。開催日程についても、特別支援教育に関する研修を知的障害、自閉症、肢体不自由、重度重複障害、特別支援教育全般、ICT 関連など、内容ごとに日程を分散したことで、参加者が学びたい研修を効率よく行うことができました。研修についても、オンラインだと口頭で質問しにくい所を、Zoom のチャット機能を用いたことで、積極的に質問することができたり、質問内容について参加者全体で情報共有したりすることができました。これはオンラインならではの効果でした。何より、これまで東海地区以外からは参加しにくかった人にとって、自宅にしながら参加することができたことはとても有用でした。当会にとっても、健康面に心配（感染や移動等による身体的、心理的な不安）な当事者の方に安全で安心な自宅から講義を実施することができたことは、運営にとっても、講師である当事者の方にとっても安心で安全な環境を整えることができました。また、遠方の講師に講義を依頼することがしやすく、講義内容を充実させる上でとても有用でした。オンデマンドによる研修についても、福祉機器の使い方など、繰り返し学びたい方にとって有用な内容となりました。

上記のように、これまでの集合型の研修ではできなかったことが、今回のオンライン型研修会において多くのメリットを得ることができました。参加者アンケートもおおむね満足度の高い評価を

多く受けました。

■ 成果の広報・公表

今回はオンラインで開催することとなったため、セミナーの様子を Zoom にレコーディングしました。その内容を期間限定で YouTube や Facebook に限定公開したことで、受講者から繰り返し講座内容を振り返ることができて非常に有意義であったという意見を多数受け取りました。また、セミナーの内容を簡単に当会の Facebook やホームページに公開したことで、参加することができなかつた人に情報共有することができました。そのため、当会がこれまで行ってきた集合型の研修以上に参加者に対して情報会を行うことができました。また、資料については印刷物を配布するのではなく、データで参加者に配信しました。そのため、資料が細かい所まで確認することができてよかったという意見を参加者より聞きました。

■ 今後の展開

2021年度もコロナ禍によって感染症予防の対策が必要になってきます。当会では、その対応の一つとして2020年度に開催した東海特別支援教育カンファレンスで培ったオンラインやオンデマンドの形式を取り入れたセミナーの開催を予定しています。感染症の拡大状況によっては集合型とオンライン型の二つを併せたハイブリッド型の研修方法も計画しています。また、引き続きホームページや Facebook 上でセミナーの案内や特別支援教育に関する情報発信を行いながら、東海地区に限らず特別支援教育に関わる人たちとの「つながり」ができる場を作り、広めていきたいと考えています。